

学ぶ議員研修会を開催。その後、議会運営委員会を中心に、「より良い政策提言ができる議会」「信頼される議会」を目指し、今後の議会基本条例運用方針を決めた。

具体的には

- ① 議会報告会…これまでの5月開催の予算報告会に加え、9月定例会後決算の報告会を開催する。
- ② 一般会議…町内で活動している各種団体の方々との意見交換の機会を持ち、町への政策提言に繋げていく。
- ③ 自由討議…機関としての合意形成を図るため、議員相互の討議が不可欠であり、委員会や協議会等で試行的に実施していく。
- ④ その他、決算審議における総括質疑の実施、政策形成能力向上のための議員研修機会の充実、重要政策勉強会の実施、請願・陳情に係る審査基準の作成等を検討事項に掲げた。

(3) 予算・決算審査

平成23年7月の議員改選以降、予算・決算審査において、より議会の監視を強化した。具体的には、決算の不認定や予算の修正可決等。平成25年度決算では、2つの常任委員会から1事業ずつ選定し、決算特別委員会において事務事業評価を実施。次年度予算編成の際、どのように町が検証したかを総括質疑で質すなど行った。

予算や決算特別委員会では、付帯決議、修正案、事務事業評価という結論を導くにあたり、委員会で合意形成を図るため、討論前に自由討議を実施した。

(4) 常任委員会での調査・研究

任期終了までの2年間で行う調査・研究テーマ、検討事項等を委員会ごとに決定し閉会中の所管事務調査とした。

(5) 議員による条例提案

① 意見書を国へ提出

平成23年に起きた福島第一原子力発電所の事故後、放射能の影響について乳幼児を持つ家庭を中心に多くの人々が不安を感じていることを受け、同年7月、命を産み育む女性の立場から『新しい日本のエネルギー政策』を早期に求める陳情書を提案し、全会一致で可決、国へ提出した。

② 議員研修会と先進地視察を実施

平成25年7月、大学教授を招き「自然エネルギーの導入に向けた制度の整備について」の議員研修会を実施。同年11月行政視察を実施、原子力発電所、既に条例制定済みの新城市、小水力発電施設設置推進の中津川市から取組みを学ぶ。

③ 町民からの陳情を採択

「地域における自然エネルギーの活用を振興する条例の速やかなる制定に関する条例」が提出され、全回一致で採択。

④ 条例骨子案の作成

所管の常任委員会では、平成26年1月から11月の期間に、勉強会を10回、協議会を3回開催し条例骨子案を作成。

⑤ 一般会議を開催、意見交換を実施

平成26年6月、大磯町環境審議会との一般会議を開催。取組みやスケジュールを説明。意見交換会では活発な意見を頂く。

⑥ 議会報告会を開催、パブリックコメントを実施

平成26年の議会報告会では、5月に条例骨子案を、11月に条例素案を説明。

10月から1カ月間パブリックコメントを実施。30件の意見を頂く。

- ⑦ 「大磯町省エネルギー及び再生エネルギー利用の推進に関する条例」を制定
平成26年12月議会において、所管の常任委員会委員が条例案を提案。全会一致で可決し、平成27年4月1日施行。

執行部、は条例施行に際し環境課を新設し、現在条例の運用に取り組んでいる。

(5) 陳情の審査基準を作成

議会運営委員会での取り扱いを協議するにあたり、平成26年5月に審査基準を作成した。

所感

大磯町の財政は、自主財源である町税が一般会計の48%も占める。ゆとりがあるせいか議員報酬も31万5千円とはるかに高く恵まれている。女性議員が半数を占め活発な議会の一因かも知れない。報酬が高い割には若い議員が出ていない、55歳～76歳。

議会改革では、大山町議会でも大半取り組んでいる内容であるが、進んでいる点もある。

- 自由討議…我々が行っている議員討論会とは少し違うようだ。予算・決算特別委員会で、付帯決議、修正案、事務事業評価という結論を導くにあたり、委員間で合意形成を図るため、討論前に行っている。
 - 議員による条例提案…
 - 議会報告会…分かり易く説明するためのパワーポイント使用。
 - 日程及び議題をホームページに掲載…すべての会議（本会議・委員会・協議会・一般会議）を原則公開としているため。
 - 議案及び陳情等のホームページ掲載…関心を持ってもらえるよう、審議の1週間前には議案及び説明資料を掲載。
 - 執行部のパワーポイント使用…本会議での一般質問答弁参考資料、委員会や協議会での説明資料として。
 - 常任委員会毎にテーマを決め2年間かけて調査研究
- 以上は、大山町議会の改革度を上げるため、検討すべき項目と考える。
(余談 標高168mの高麗山がある)

◎ 伊勢原市 「大山観光」「日本遺産」

神奈川県 面積 55.56 km² 人口 101,575人 (H27年) 高齢化率 24.4% (H28年)
神奈川県ほぼ中央、丹沢大山国立公園の一角をなす大山(標高1,251.7m)を頂点として東には豊かな平野が広がる。東京から約50km、横浜から約45kmにある首都圏の近郊都市。

応対者 高山松太郎市長、越水清議長、安藤玄一副議長、鈴木教之教育長、山口讓歴史文化推進担当部長、岡留一司議会事務局長、柴田康鑑議会事務局次長、眞島綾子議会事務局次長兼係長、他 担当課職員5~6名

1. 「大山観光」

仏教が東国に普及する8世紀頃には日向薬師、大山寺などが開かれ、中世になると山岳信仰が盛んになり、大山は霊峰として称えられ多くの修験者の行場として栄えた。阿夫利神社も平安時代には開かれていたようである。

江戸時代には、庶民の間にも「大山詣り」が定着し、大山は庶民の信仰対象として人気を集めた。

観光客数は、平成20年からほぼ横ばい、平成20年 大山方面92万人(県内全域合計)

176 万人) 平成 26 年 同 96 万人 (同 171 万人)

平成 25 年 2 月に神奈川県の新たな観光の核づくり認定事業に“大山魅力再発見「平成大山講」プロジェクト～体感! 悠久の歴史・安らぎの霊峰大山～”が認定され、現在活気ある観光地づくりが進められている(後述)。

平成 28 年 3 月 28 日から、長年の念願の小田急線特急ロマンスカー伊勢原駅全日停車が始まる。

○ 伝統行事

○ 布まねきの復活…大山詣りに赴くことが粋であるとされた江戸時代各地に大山講が組織され夏山には多くの人々が大山を目指した。大山講中の人々は大山参拝の証として「布まねき」と呼ばれる講名や自身の名が染め抜かれた旗を持参し、阿夫利神社又は宿坊へ納めた。

○ 歳旦祭……元旦午前零時。

○ 新春特別祈願祭…正月中、金幣拝載式が執行される。三が日には、福餅が振る舞われ、参拝者には大神様の御神徳が分かち合われる。

○ 筒粥神事…1 月 8 日。一年の作物の豊凶を占う筒粥神事。神意頭わす占いの結果は関東一円の農業関係者に神社より、先導師等を通じて配布される。

○ 酒祭り……5 月末日曜日 2 日。300 件を超える奉献があり、多くの酒蔵関係者が参列。

○ いざ夏山へ、大山詣り…毎年 7 月 27 日、日本橋お花講により登拝門が開かれると大山は「夏山」を迎える。8 月 17 日までの三週間の間、多くの講中が大山へ参拝に訪れ、神前では神楽が捧げられ、山内には六根清浄の掛け声や威勢のいい木遣りが木霊し、揃いの行衣を羽織った参拝者の姿が多く見受けられるようになる。

○ 夏季大祭…7 月 27 日～8 月 17 日

○ 秋季例大祭…8 月 27 日～29 日の三日間。夏山への感謝と豊年を祈る。

○ 大山火祭薪能…10 月 5 日、6 日。阿夫利神社能楽殿。

その他四十余りの多くの祭事が行われている。

○ 催事

○ 大山登山マラソン…3 月第 2 日曜日。年々応募者数が増加し、今年は 2,200 名が伊勢原駅から大山阿夫利神社下社間の標高差 650m、石段 1,610 段を有する険路に挑んだ。

○ 納太刀ウォーク・山の日イベント…8 月 11 日

○ 大山サマージャズ&ラテンフレンドリーシップコンサート…8 月 20 日

○ 平成大山講プロジェクト

目標…… ○ 何度も訪れたくなる大山 平成 29 年迄に観光客を 6 万人増やす

○ 外国人を引き付ける魅力あふれる大山

○ 観光で活気あふれる大山

推進体制…プロジェクト推進協議会(地域団体、企業、大学、行政。)

実施事業…イベント(トークショー、大山下社でのデジタル掛け軸、大山の夏光の競演、誘客キャンペーン、大山石尊芸術祭、紅葉のライトアップ。)

インパウンド対策(案内板等の整備、外国語パンフレットの作成、大山おもてなし塾、外国人誘客対策(メディア)、事業者向け補助制度、外国人向けの観光案内。)

渋滞対策…臨時駐車場、校庭に 1 ヲ所→校庭 2 ヲ所含む計 5 ヲ所に。

平成 27 年度以降の取り組み…ミシュラングリーンガイドに掲載、日本遺産を生かした情報発信。